

学位論文の要約

End-of-life care bonus promoting end-of-life care in
nursing homes: An 11-year retrospective longitudinal
prefecture-wide study in Japan

(特別養護老人ホームにおける看取り介護加算制度による看取り
介護の促進：神奈川県における 11 年間の後ろ向き縦断研究)

Sho Nishiguchi

西口 翔

Department of Medical Education
Yokohama City University Graduate School of Medicine
横浜市立大学 大学院医学研究科 医科学専攻 医学教育学

(Doctoral Supervisor : Masahiko Inamori, Professor)

(指導教員 : 稲森 正彦 教授)

End-of-life care bonus promoting end-of-life care in nursing homes: An 11-year retrospective longitudinal prefecture-wide study in Japan

(特別養護老人ホームにおける看取り介護加算制度による看取り介護の促進：神奈川県における 11 年間の後ろ向き縦断研究)

..... 本 文
.....

1. 序論

加速する高齢化社会で高齢者の終末期に関して、高齢者施設の中でも終の棲家と位置づけられている特別養護老人ホームでの看取り介護の遂行は大切である。特別養護老人ホームの看取り介護に関して、平成 18 年に介護保健法の介護報酬改定にて創設された看取り介護加算制度は、金銭的なインセンティブとアドバンス・ケア・プランニングを含む看取り介護の質の向上に重要な役割を果たす(Ikegami and Ikezaki, 2013)。今回の研究はこの看取り介護加算制度が特別養護老人ホームの看取り介護の促進に寄与するかを検証する。

2. 方法

研究デザインは後ろ向き縦断研究で質問票を用いて平成 16 年～平成 26 年の 11 年間にわたって検討した。対象は神奈川県内の特養 378 施設とした。統計モデルは線形混合モデルを用いた。アウトカムは施設内死亡退所者数とした。効果因子は、設立年、ユニットケア、地域の高齢化率、地域の病床数、隣接する関連施設、常勤医、医師の時間外対応、終末期ケア基本方針、看取り介護加算制度、看取りケアカンファレンス、看護職員、介護職員の看取り経験とした。

3. 結果

237 施設より質問票の返送があり、回答率は 62.7%であった。11 年間の経年的変化では、死亡退所者のうち看取り介護者を反映する施設内死亡退所者数の割合が増加傾向を認め、平成 18 年の看取り介護加算制度創設以降で病院死亡退所者数と逆転現象を認めた(図 1)。線形混合モデルを用いた統計解析の結果では、看取り介護加算制度の利用(coefficient 3.1, 95%信頼区間 0.7-5.5, p=0.012)および利用年数(p<0.001)は有意に関連を認めた。さらに、隣接する関連病院(coefficient 3.2, 95%信頼区間 0.2-6.3, p=0.042)、看取りケアカンフ

アレンス (coefficient 2.0, 95%信頼区間 1.0-3.0, $p < 0.001$)、医師の時間外対応 (coefficient 5.4, 95%信頼区間 2.8-8.1, $p < 0.001$) も有意に関連を認めた。

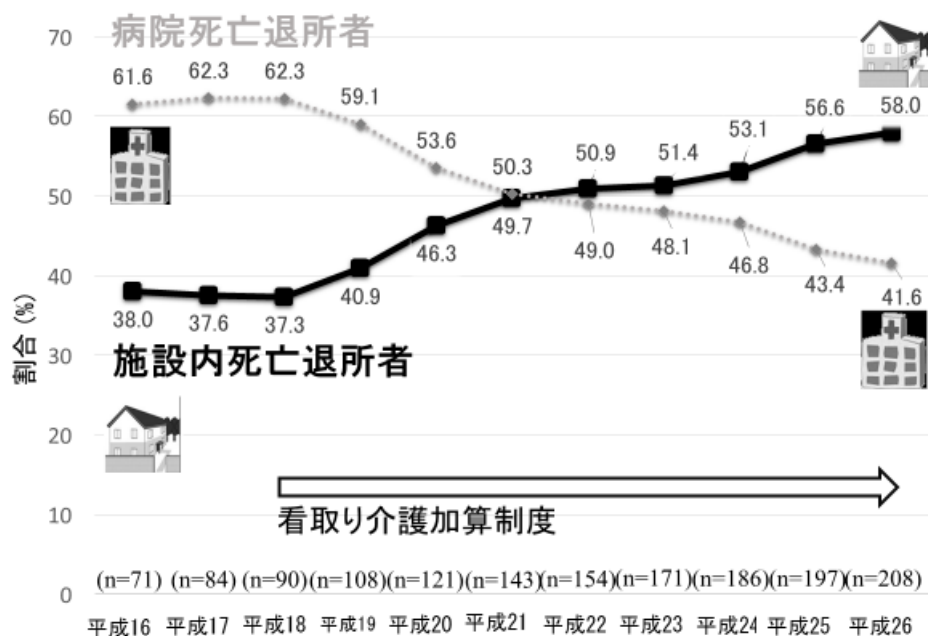


図1. 特別養護老人ホーム死亡退所者の死亡場所割合の経年的変化

「Nishiguchi S, Sugaya N, Sakamaki k, Mizushima S. (2017), “End-of-life care bonus promoting end-of-life care in nursing homes: An 11-year retrospective longitudinal prefecture-wide study in Japan”, BioScience Trends. (in press). を元に執筆者作成」

4. 考察

今回の研究では、看取り介護加算制度が特養の看取り介護の促進に関連していたことが明らかになった。これらの結果により、日本だけでなく高齢化の進行する他国においても、金銭的なインセンティブを伴う看取り介護加算制度という政策が日本の特養に該当する他国のナースホームでも貢献する可能性が示唆された。

引用文献

Ikegami N, Ikezaki S. (2013), “Nursing homes and end-of-life care in Japan.”, J Am Med Dir Assoc, 14 (10), 718-23.

.....

論文目録

主論文

Nishiguchi, S., Sugaya, N., Sakamaki, K., Mizushima, S. (2017). An end-of-life care bonus promoting end-of-life care in nursing homes: An 11-year retrospective longitudinal prefecture-wide study in Japan, *BioScience Trends*, (in press).

副論文

西口 翔. 平成 26 年度 神奈川県公衆衛生協会調査研究助成「特別養護老人ホームにおける看取り介護加算制度利用の現状と課題の検討」報告書.